

## 20世紀を振り返って

1989年10月に設立された障害者情報クラブは、昨秋で**丸11年**を過ぎたこととなります。

設立当初のメンバーは、数名を数える限りで延べ200名以上のメンバーが入れ替り立ち代り障害者情報クラブを支えてきたこととなります。同じ頃に設立された近隣の自立生活センターでも、設立当初のメンバーは数名であることを考えると、これも自然の成り行きかもしれません。

12年前、障害者の生活を支える公的制度はまったくなく、それに比べると4年後には介護保険という枠組みではありますが、障害者を生かす制度が出来上がりつつあります。12年前、移動の問題を旗印にしなければならぬほど公共交通機関や都市施設の未整備状態があったのに比べると、

今は「交通バリアフリー法」や「ハートビル法」があります。

12年前、障害者情報クラブは、「障害者を取り巻く状況を考える市民団体」として旗揚げしましたが、当初は市民団体(NPO)という言葉が理解されず、「障害者団体かボランティア団体かはっきりしては?」という意見もありましたが、今では不十分ではありますがNPOが法的に認知されつつあります。

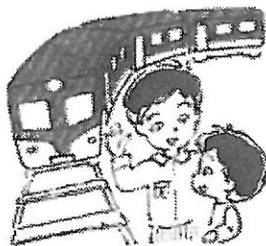
### 1. 駅舎の安全

さて、先般、東京のJR新大久保駅で発生したホームからの転落死亡事故は皆さんご存知のことと思います。

JRは私たち障害者が、団体や個人で繰り返し繰り返し「転落防止のホーム柵、またはホームドアの設置」を要望してきたにもかかわらず、あらゆる理由を並べて設置を

# KSKP 障害者情報クラブニュース 14

行ないませんでした。敢えて「設置を阻止してきた」と言っても、この際過言であるとは思えません。



JRは、退避スペースの設置も行わず、ホーム柵・ホームドアも設けず、ホーム要員もおかずに今までやってきましたが、安全対策の不備を追求されても「義務付

けられていな

い」ことを楯に、その場凌ぎの責任逃れを決め込んでいます。ホームでの酒類販売についても「乗客が減る原因になる」と言っています。それどころか、事故後もキオスクのCFで「今月のお勧めはカップ酒!」とやっています。人の命は営業成績よりも軽いものなのでしょうか。

JRは公共交通機関としての意識を高くして独自の安全対策を強化して欲しい。

今までも同様な事故が起こって障害者の仲間が何人も死亡または重症を負ってきましたが、そのときだけの報道で終わってしまいました。しかし、

今回はなぜかマスコミの取り上げ方が違います。転落死亡事故ならあそこまで報道はされなかったでしょうが、助けようとした人が死亡したという行動がマスコミ受けしたことも確かです。現に、今年に入ってから転落死亡事故はこれが初めてではないのですから、マスコミの報道姿勢にも疑問符が投げかけられますが、新幹線のトンネル崩落事故、営団地下鉄の接触死亡事故、乗車料の表記ミスなど鉄道に関わる不祥事が続いているからだけでなく、「安全」というものに市民が敏感になってきているのも確かではないでしょうか。

それならば、私たち障害者にも追い風が吹いています。JRにホームでの安全確保を徹底させ、特にホーム柵、ホームドアの設置を推進させるように、あらゆるメディアを使って私たち障害者の声をJRに、そして他の鉄道事業者に、そして無策な森内閣に伝えていきませんか。

## 2. 阪神大震災を 振り返って

今年の1月17日で、あの忌まわしい瞬間から6年が過ぎてしまいました。

阪神大震災は障害者の生活がいかに脆い基盤の上に成り立っているのかを改めて浮き彫りにしました。それと同時に、

「つながり」を持  
っていた障害者

の底力も見せてくれました。

代替輸送システムは、障害者にとってまったく用を成しませんでした。障害者は避難所にさえ居場所がありませんでした。それどころか、避難する経路すら確保されませんでした。

罹災証明をもらうためには、役所やその出先機関までいかなければなりませんでした。行く手段がなくても。。。

壊れた電動車いすを新しく作るために、「更生相談所」までこいと兵庫県に言われました。乗っていく車いすが瓦礫に埋まっても・・・鉄道が寸断されていても・・・

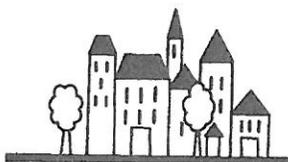
民間で知恵を絞って入浴サービスをはじめようとしたとき、役所から投げかけられた言葉は「誰の許可を得てやっているのか？」でした。

一時的に、「誰もが使える当事者主体のまちづくり」が叫ばれましたが、今の兵庫県ははっきりと「事業者主体」「利害関係」のまちづくりと嘯いています。

また、明日、同じ規模の地震が起きたとしても、阪神間はまた火の海になり、避難所は人であふれ、

障害者は行き場を失うことでしょう。

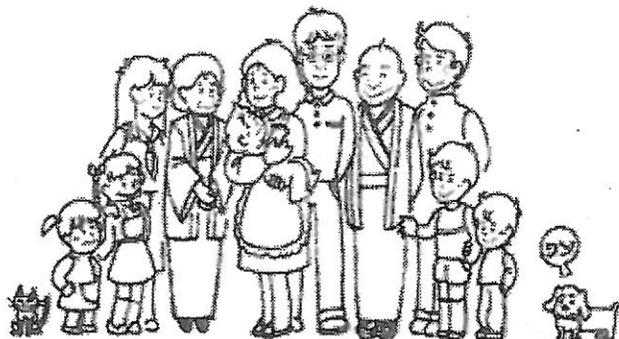
日本の官僚は経験から何も学ぼうとしない。役人は市民から金以外は何も吸収できない。そして、市民の声拔きに役人だけで考えた、生きた言葉のない政策だけが作られて行く。



改めて、私たちは「**当**

**事者主体**」の名の

下に、民主主義を取り戻す、というよりこの国で史上初めて本当の民主主義を作り出さなければ、生活どころか自分の命さえ危ういのではないでしょう。



以上2点から新年度の障害者情報クラブの活動の柱は「交通バリアフリー法の検証」でやっています。

市内では、阪急雲雀丘花屋敷駅とJR中山寺駅にエレベータの設置が決まり、阪急仁川駅は再開発と合わせてエレベータ設置工事に入っています。また、市と阪急が中心になって逆瀬川駅のエレベータ化の話もありますが、最も厄介であるけれどももっとも重要なJR宝塚駅の橋上化の推進も、JRを除いた関係者で進められています。このJR宝塚駅の橋上化の話し合いの席に、肝心のJRを引きずり出すことが当面の課題になっています。

そのきっかけになるよ

うに、**秋頃にシン**

**ポジウム**を考えて

いますので、会員・関係者の皆さんにはご協力よろしくお願ひします。

(坂上正司)

# 企画部2000年度まとめ

私が企画を受け持って3年目、何にもわからずに過ぎていったように思えます。

今年度は、ボーリング2回と忘年会を企画しました。

9月のボーリングは、何度かお世話になっている川西のボーリング場で開催しました。川西は、何度か開催しているの慣れているところです。会場もなれていて使いやすいので、川西に決めました。最初は、8レーンかりつもりでしたが、参加者がはじめに考えていた数には届かず6レーンになりました。ボーリングは、面白いから**もつ**

**と集まってほし**

**い**です。2ゲームの合計点で順位を決めました。

忘年会は、最初アステ川西にある天ぶら屋で開こうと思いましたが、宝塚のクラブだから地元で開いたほうがいと考

え直して、山本にある『花やしき』という店にしました。こちらの思惑とは違って忘年会は大盛況で、席順を決めるのにも困りました。お店は、狭かったのですが店員の対応がとても良く、楽しい時間を過ごすことが出来ました。いいお店を見つけることが出来ました。

3月の定例会は、以前の子定は、大阪のミナミで1日遊ぶ計画をしていました。しかし、もう1回、ボーリングにする事にしました。なぜかというと、

**ボーリングだ**

**とみんなが楽**

**しめる**からです。車

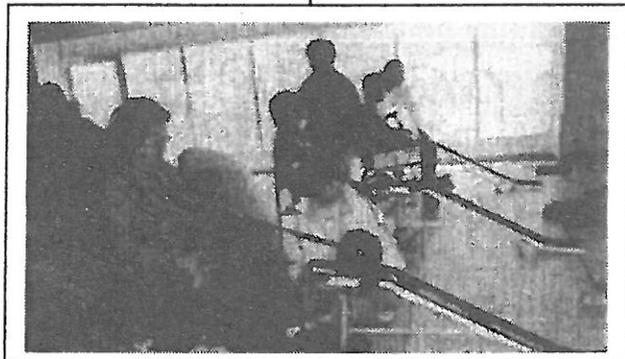
椅子の人でも、レーンの上に傷をつけない様に工夫をして専用の投球台を使って、レーンのガーター防止の機械を使えば出来ます。**私でもスト**

**ライクを2回出し**

**た**から、皆さんにも楽しんでほしいです。

最後に、私事ですが、1月28日に西宮でハイツを借りる事が出来ました。これも、ここの皆さんのおちからで出来ました。

企画部長 土井 克哉



## 障害者情報クラブと私

金岡幸二

私が「障害者情報クラブ」の存在を初めて知るに至ったのは、今日より去る事3年前(確実な日は?)のある日、たしか井上さんよりお電話を頂いた時だったと思います。が、しかしその時点では入会する決心が出来ずにいました。なにか「わずらわしさ」を感じていたのかも知れません。でも、それ以来自分自身の心の底にあった何かが変わり始めたのです。

だからと言ってそれ以前は家に閉じこもってばかりいた訳でもないのですが、積極的に行動しようとしなかったのも事実です。

そして前回お電話を頂いてから数ヶ月後のある日、電話がありその頃は少しクラブとILセンターに興味もあったので、まずは第一歩と思い行かせてもらいました。本当の所は井上さんと中道さんとで車で送迎してもらったのですが。

そんな様な事で、私の場合ILセンターを知りそして、障害者情報クラブを知った又は同時進行していったと言うことです。そして、これからも、

私自身微々たる者ですが、もっと他人と知り合いたい・障害者として人としてもっといろんな事を知りたい・したい。今後も障害者情報クラブ員諸氏及びILセンター・スタッフの皆さんと上記の気持ちを胸に、接して行ければこの上ない喜びと思っています。

金岡 幸二

私



2000年度介助サービス研修会 (中上級者編)

2月2日～4日

堀口礼子

私は今年、1月5日より宝塚の障害者情報クラブILセンターに入れてもら

いました堀口礼子です。

私は今まで、25年ほど子育てにおわ

れていたもので、何もわからないままに、松山の介助サービス研修会に行かせてもらいました。何とぞよろしくおねがいします。

障害者の自立生活のむつかしさ、介護の必要性を自分自身、改めて知ることが出来ました。

そして、一人の重度障害者が、自立するにあたって、介護にかかる人も費用もたくさんいることもよくわかりました。

都道府県によっても、市によっても、基準がすごくちがいがあること、それらを国が把握していないから、**通る**

**ことも通らない**と言うことでした。

2日の夜の交流会では、少し息抜きが出来て、とても楽しく思いました。推進協会の話をHANDOS世田谷

の横山氏にお聞きして、又、自立センター米子の光岡氏、自立センター立川の鈴木氏、露木氏に其々に自立センターの事業内容の説明を受けました。その中でヘルパー派遣のたいへんさとヘルパーさんの健康管理の心くばりまでしないといけないことなど**思い**

**もよらないことまで**わかりびつくりしました。

私自身は何事に関しても、いかに勉強不足であったかに気がつきました。それに少し福祉のことも進んでいて障害者の人が、すごくがんばっていることも改めてよくわかりました。

私はこれからは、多くの人と出会いその人達に色々な考えを聞かせてもらい同じ人間として、何が大事なことを勉強させてもらいたいと思いました。

## 教職員組合宝塚支部冬季教育研究集会参加報告

2001年2月1日(木) 宝塚市立東公民館大ホールにて

講演 演題：21世紀は人権の世紀になりうるか？

～障害者の視点から見た21世紀の展望～

講師 河野秀忠さん (季刊障害者問題総合誌編集長)

講師プロフィール：河野秀忠さんは、1942年大阪生まれ。酒屋の店員、トレーラー運転手など、さまざまな仕事につきながら、反戦・部落解放・沖縄問題などに取り組み、71年には障害をもつ友人と出会い、障害者の自立と解放を求める運動へ。79年、季刊障害者問題総合誌『そよ風のように街に出よう』を創刊、

編集長として現在にいたる。

一方、住まいのある大阪府箕面市では、市の障害者事業団・採用検討委員長・自主事業運営委員長などを務め、障害者の働く場づくりなどに尽力されている。講演内容：障害者運動が他の部落解放運動や在日朝鮮韓国人差別運動と違う点は部落の人および在日の人はずっと続いてきた先祖代々の差別であるため、闘っていく組織がすでに存在しているが、障害者の場合は組織というものが、そもそもありません。障害者はどんな金持ちの家にも貧乏人の家にも生まれてきます。そこには繋がっているものが何もないので、障害者の一人一人が繋がっていくことこそ、障害者運動だと思います。

それまで家や施設の中に閉じ込められていた障害をもった人たちが、自分たちから街に出て行こうとしてきました。それも無理に「がんばる」のではなく、普通の、あるがままの自分をさらけ出して、泣いたり笑ったり怒ったり、豊かに表現したら、それを受け取る側の障害者も、「そうか、そんなに飾り立てて自分は生きていなくていいんだ。“障害者らしい障害者”にならんでも一人のひととしての自分になっていけばいいんだ」と気づき、それが全国津々浦々の障害者に広がってくれたらいいなあという気持ちがありました。そのために、『そよ風のように街に出よう』でうまずたゆまず、障害者自身が元気を出す主体として、彼らの生の声を発信しつづけたらどうかと考えたんです。

教職員組合もそうだと思いますが、組織の中に個々の人間が埋没していくのはなぜでしょうか？ 例えば現在教職員組合の共通認識として「障害児も地域の学校へ」というのがあると思いますが、これが崩れたとき、先生一人一人も崩れていくように思います。そうしたら子どもたちは養護学校へ追いやられていくのではないのでしょうか？ そうではなくて個々の人間が「だれがなんと言っても私はこうなんだ」というものをしっかり持ってほしいのです。

この20年間大人たちは、とにかくいまは将来のために、いい学校、いい生活、幸せな家庭を手に入れるために一生懸命がんばろうという精神で急いできたし、子どもにもそれを要求してきた。だけどよく考えてみたら、今が楽しくなかったら、そんなに未来に楽しいことがあるはずないわけです。障害者の世界はそういう健全者の価値観を揺さぶるところがあるんです。いつもみんなが「一生懸命勉強しろ、いい学校入ってね」という。みんなが「急げ」という。みんなが「元気出せ」という。 **そやけど人間はどないがんばったって元気出えへん**

**ときがありますよ。**

世の中の仕組みとしては、せかねばならんことがあったとしても、それに立ち向

かってゆく人間一人ひとりが、もうちょっと、ゆっくり考える。子どもに接するときも、「君らにはまだまだ時間がたくさんある。そんなに急くことはないよ」と。誰でもええから、「勉強せんでもええ」というてほしいんよ。

そんなこと言ったら「立ち遅れる」という意識は働くんだけど、そこはガマンのしどころやと思う。ガマンするって大事やと思うんです。たいていは「勝つためにガマンする」わけだから、「**ゆっくりするためにガマンする**」って妙なものやけどね。世の中がものすごい勢いで動いているなかで、自分たちはゆっくりやるんだと。

だから僕は、障害を持った人といっしょにいろんなことをするなかで、子どもらも「やっぱり、いまを大切に生きたい」と思いはじめているのを感じています。そんなにせくまい、もう少しゆっくり考えて、ゆっくり子どもたち—僕たちの未来ですよ—に、照れずに、自分を好きやと、あるがままの自分が好きなんだと語れるような関係ができればいいなあと思いますね。

(聴きに来ている人がほとんど教師であるため、そのことを意識した内容でした。)

**感想**：ジーパンにブーツ姿であらわれた河野さん、大阪弁のぶっちゃけた話が面白かったです。自分自身のあまりにもあわただしい日常を振り返り、色々と考えさせられました。もっとゆっくり子どもたちと過ごしたいなあ・・・。

『ゆっくりの叛乱』という河野さんの著作も購入しましたので、読みたい人は連絡して下さいね。  
2月5日 (吉梅記)

## ☆宝塚の良いところ…

黒田久雄

**ドドオオオオン!!!ド**

**ンドン!** 勇壮な太鼓の轟音が轟きます。  
打ち手は私たちの町、宝塚市のろう者の仲間です。

私は、阪神地域随一のベッドタウンでもあるここ宝塚で、静かに暮らしていたのですが、ある朝突然凄まじい轟音と共に全ての音を失ってしまいました。それが両側進行性突発性難聴の発作だったのです。その時それが私のそれまでのほとんど全ての仕事、趣味の一切を葬り去るものとは思いませんでした。しか

し、難聴の進行は早く、実質的な失聴に陥り、今までの生活を見直し、人生の再スタートを余儀なくされました。失意の中にも、市役所の窓口、西宮職安の窓口の皆さんに支えられて、やっとこさ立ち直ってきました。

### 声の無い出会いの中で、手

話者ろう者、難聴者の皆さんと出会い、また、心優しい手話通訳や要約筆記者の皆さんとも出会いました。音声を失うと言うことは一種残酷なもので、他人の声はおろか、自分の声さえも聞こえません。食べ物を飲み込むのも一苦労なのです。徐々に私でさえ言葉を失って行くのが判ります。市役所の窓口で手話サークル「ほほえみ」を紹介して頂き、真夜中まで特訓の毎日となりました。口話と手話を一度に覚えて行かないと一般的なコミュニケーションの手段が大きく損なわれてしまいます。心そのものを直接お

話する相手に通わせる手話は小人数で相当期間丁寧に習わないと使い物になりません。

宝塚市のろうあ協会傘下の「輪龍鼓(りんりゅうこ)」は、ろう者を軸に手話通訳者と一緒に力強く仲良く研鑽しています。私も手話習熟と失った心を取り戻しにこのろう者の和太鼓グループに入りました。松山の水軍勝鬨太鼓、三宅の木遣り太鼓の三宅太鼓、など演奏曲目も増え、訪問先での楽しい交流も心楽しいひとときになってきました。ろう者の使いこなす本格的な手話がまだまだ覚束ない私を大丈夫??☆☆☆☆?ドキドキと何度も何度も気遣う優しい手話通訳のメンバーを見て、「やっぱり宝塚の女の子は優しいよねー」とあたたかい手話のさざなみが広い交流会場いっぱいにうちよせました。

## 無年金障害者について思うこと

石川博之

最近になって無年金障害者について私が思うようになったことについて書きたいと思います。

自分が障害者になってはや2年、障害についていろいろ考える時間が増えました。今までのこと、これからのこと。

例えば、今から**30年後の自分**はどうなっているのだろう。働いているの

だろうか?それとも、ベッドで寝ているのだろうか?その時自分は笑顔でいるのだろうか?その時一番不安になることはやはりお金のことだろう。働くことも出来ず、親も老い衰え、その時私の家族は生きていけるのだろうか。今現在このような状況におられるかたも大勢おられるのではないのでしょうか。このような方々を救うことを目的とされた障害

者年金を受け取れないというのは国がおこなうサービスとしてどうなんだろうか？

私は思うのですが、今わたしは23歳です。20歳ぐらいの時をふりかえると、年金について詳しい知識が無かったかと思えます。それに、私のまわりの人も年金をおじいちゃんがもらってるものだけぐらいしか考えてなかったように思えます。これは**年金などサー**

## **ビスについてのPR不**

**足** なんじゃ無いのでしょうか？

あと、私的には急に国が金を払えと言ってきたという印象しかなかったです。しかも、今まで学費などは、親が全て払ってくれましたから、これはお前が払えと言われた時は、とてもビックリしたものです。しかもその時のバイト代といたらすすめの涙ほどしかなく1万3千円もの大金を納めることは大変な労力を必要としました。そこで保険料が

一律1万3千円というのは、公平なんだろうかという疑問がうかびました。月給何十万と言う人と、数万円の人と同じと言うのはどうなのだろうかというのがそれです。

あと、今現在同じような障害をもっているのに障害者年金を貰っている方といない方がいます。これは、国が行なうサービスとしていかなものなのだろうかというののもう一つの疑問です。もう一つ、障害者年金の規定の中で重度の障害とあるのですが、なにをもって重度なんのでしょうか。もう一つ、これは希望なんですけど就職したあとの年金は給料から自動的に引かれますよね、ならば、アルバイトも同じく出来ないものなののでしょうか？

などなど、いろいろ書いてきましたが、私自身勉強途中の身ですし、これは間違っている！とはいえません。ですが、なんでかな～と思ったことを書き連ねてきました。

出来れば皆さんにもなんでかな～と思って貰えたら幸いです。

## **俺の宝塚**

(会員の比嘉敏雄さんに電話で宝塚の思い出話を中山君江がインタビューしました。) 比嘉敏雄さん、宝塚生まれの宝塚っ子。視覚障害者で71歳、御所の前で1人暮らし。スポーツ、お茶、ヨガ、点字、歌唱など出来る障害者情報クラブ創立からの会員です。

(ではでは、比嘉さん昔の尼宝線教えて)

そうやなあ、俺の小さい時は、宝塚から尼まで阪国バスが走っていたんや。西洋道路と呼ばれてたんや。なんせアスフ

アルトの道は宝塚では初めてやから珍しかった。バスは木炭。檜の木や炭で動いていた。運転手と車掌と2人乗ってた

しなあ。道の周りは家がなく田んぼや畑ばかりで遠くからバスが走って来るのが見えて、それからゆっくりバス停に行っても間に合ったもんや。今は見えなけれど建物が増えて景色が変わって俺にはさっぱりわからん。人に教えてもらわんとなあ……。そうや、場所ははっきり覚えてないけど、う〜と旭町あたりかな、予科練の訓練場があったんや。それで俺な、七つボタンに桜にイカリのあの服に憧れて志願して検査にひっかかってあかんかったんや。片方の耳が聞こえなかったのな。……

(宝塚の駅の周りはどうだった?)

そうやなあ映画館があった。動物園のすぐ隣や(立体動物園の場所)鞍馬天狗の映画見た。あのころは貧しかったので

あんまり行けなかったけど嵐寛寿朗見た。入場料は忘れた10円かな20円かな。そこが潰れてから逆瀬川や終点(宝塚駅)のへんにも映画館できた。とにかく宝塚は変わった。市役所も逆瀬川の駅前にあったのが前は見えてたからどこへでも行けたけど今は目が見えんからあっちこっち行けなくなったずいぶん変わってしもうた……。

(比嘉さんどうもありがとうございます。スポーツにお茶や点字なんでもござれで今が青春ですね。障害に負けずにお互いにがんばろうね)

語り手 比嘉敏雄

聞き手(文) 中山君江

## 私の初恋 IN TAKARAZUKA

岩本浩一

私の宝塚での一番の思い出は、初恋です。それは、私が幼稚園のころのことです。彼女のクラスはゆり組で、私はばら組でした。いつか、合同映画会かなにかで、彼女を見たとき、私は、とても緊張しました。幼稚園の時に、彼女と出会ったのは、その時だけでした。けれども、私が小学校一年生に、入学したとき、なんと、彼女と同じクラスになったのです。彼女の名前はM. Oです。私は彼女が好きでしたが、小さい時から口下手でどのように話して良いか、分からなかったの、今、思うと彼女をいじめていたのかもしれない。彼女は**私にとって、オードリー・**

**ヘップバーン**のような存在でした。

ある時、私は、思い切って彼女に聞いてみたのです。「私と弟とでは、どちらが好きかい。」なんと、彼女は「弟の方が好きよ。」と、言ってくれたじゃありませんか。

ショックでした。

私にとって、つらい小学校1年生生活でしたが、私の記憶によると、一度だけ彼女と彼女の友達が私の家に遊びに来てくれたことがありました。でも、何をして遊んだのか、また、どのようにして私の家に来て、どのようにして帰ったのかは覚えていません。

私が、M. O.について知っていることは、彼女が小さい時から、剣道と習字を学んでいたことくらいです。もう一つの思い出は、小学校の六年生の時に修学旅行で、伊勢に行った時の彼女のはつらつとした元気な姿の卒業アルバムでの写真です。彼女の写真をみていると、よく元気がでたものです。

中学一年生の時も、私達は同じクラスになりました。その時もほとんどお互いに話をしたりしたこともなく、ただ、年賀状のやり取りがあったくらいでした。

中学三年生の時、修学旅行で、信州へ行きました。その時、男友達に頼んで、彼女の写真を取ってもらいにいきましたが、下を向いて、顔は見えない状態でした。ショック！

高校は、お互い違う高校へ通いました。高校三年生の時、**思い切って、初**

**めてラブレターを彼女に書きました。**しかし、返事はありません

でした。そこで、私の家族がいないときに、彼女に電話をかけました。何を話したかはほとんど覚えていませんが、ただ、彼女がその時、「わたしは、泳げないのよ」と、言ったことだけは覚えています。

高校卒業時に、彼女と中山寺で、会う約束をしました。うれしかったのは、彼女が来てくれたことです。そして、私は自分の気持ちを告白したのです。「僕と、付き合ってくれませんか。」と。彼女は、こう言いました。「付き合う気持ちは、ありません。けれど、もし、道でであったら、駅で見かけたら声をかけてね。」そして、彼女は、去って行きました。とても、つらかったですが、今から、約二十年以上も前のことです。

私にとって、辛くて、ほろ苦い経験でした。私には、次の出会いがあるのですが、それは、秘密です。なぜなら、それは、あまりにも**悲劇的**な結末だからです。

THE END

## 宝塚市営住宅における福祉施策について

### 1 市営住宅への入居の概要について

① 市営住宅への入居資格は、公営住宅法及び市営住宅管理条例で定められており、次の4つの条件を全て満たすことが必要です。

★ 現に、市内に在住しているか、もしくは在勤していること

★ 同居しようとする親族があること（夫婦もしくは親子など）

ただし、50歳以上の方や身体障害者手帳1級～4級に該当する方などは単身者でも申し込みができます。

★ 入居しようとする方全員の所得合計が基準以内であること（政令月収20万円以下であること）

ただし、50歳以上の方や入居者又は同居親族に身体障害者手帳1級～4級に該当する方、療育手帳A、B1判定、精神障害者保健福祉手帳1、2級の判定を受けている方がいる場合は政令月収26万8千円以下であること）

★ 現に住宅に困窮していること

### ② 申し込みの時期

通常、年1回秋頃に募集しています。募集時期が決まれば広報たからづかに掲載します。

### ③ 申し込みできる住宅区分

申し込みできる住宅は、入居しようとする人数により制限があります。

単身者の場合は1DK又は2K、2人以上世帯の場合は2DK又は3K、3人以上世帯の場合は3DK、4人以上世帯の場合は4DKの各タイプとなっています。

また、シルバーハウジングは65歳以上の単身者か、どちらか一方が65歳以上の夫婦世帯、又はどちらも65歳以上の2人親族世帯となっており、車椅子常用世帯向け住宅は世帯人数に制限はありませんが、車椅子常用世帯であることが確認できることとなっています。

### ④ 申し込み方法

募集の時期に配布する募集パンフレットにより、募集期間内に申込書を提出します。（申し込みは1世帯1通限りです。）

### ⑤ 決定方法

応募者多数の場合は、公開抽選により当選者を決定します。

### ⑥ 入居までの手順

当選しましたら、書類審査、実態調査、入居者選考委員会の審査を経て、正式決定し当選順位により住宅の斡旋を行い、住宅の改修を行ってから入居となります。

## 2 市営住宅におけるバリアフリー化について

① 市営住宅においては、入居者が加齢や障害により、住宅内外での生活をよりし易くするため、福祉のまちづくり要綱や長寿社会対応住宅設計指針等に基づき、新築や建替の際には、全戸バリアフリー化する事を基本としています。池ノ島第2住宅（シルバーハウジング）や災害復興公営住宅として新築した武庫川住宅、安倉南住宅、中筋山手住宅、亀井住宅、安倉西住宅、更に建替住宅として建設した亀井第2住宅などがバリアフリーとなっています。

これら以外の市営住宅に入居されている方で、加齢や障害により手すりの設置や浴室の改修など住宅改造を希望される方がありましたら、住宅改造資金助成制度や介護保険制度の適用もありますので、福祉事務所等にご相談ください。

### ② 車椅子常用世帯向け市営住宅について

市営住宅においては、障害により車椅子を常用されている方がいる世帯については、バリアフリーでトイレ、浴室などの設備の外、緊急避難スロープの設置など特別仕様の車椅子常用世帯向け住宅を整備しています。現在、安倉中住宅、池の島住宅、武庫川住宅、安倉南住宅、安倉西住宅、亀井第2住宅の6団地で14戸あります。

今後も建替の際に、整備を行っていく予定です。

### ③ シルバーハウジングについて

また市営住宅においては、65歳以上の高齢者向け住宅として、単身者用のシルバーハウジングとご夫婦などの2人世帯用シルバーハウジングを整備しております。このシルバーハウジングはバリアフリーで緊急通報システムなどを備え、毎日、生活援助員の訪問がある高齢者専用の住宅です。現在、池ノ島第2住宅、中筋山手住宅、亀井住宅、安倉西住宅の4団地で80戸あります。

このシルバーハウジングも建替の際に順次整備を進める予定です。

## 3 市営住宅の入居資格の緩和について

① 原則では同居しようとする親族があることが入居資格の要件の1つとなっていますが、50歳以上の方、身体障害者手帳1級～4級に該当する方、生活保護受給者等については同居親族要件はなく、単身者でも申し込みすることができます。

② また、所得に関する資格については、通常、政令月収で20万円以下となって

いますが、入居者が 50 歳以上の方で同居者がいずれも 50 歳以上の世帯、入居者又は同居者に身体障害者手帳 1 級～4 級に該当する方がいる世帯、精神保健及び精神障害福祉に関する法律施行令に規定する 1 級又は 2 級に該当する方がいる世帯、また知的障害については A、B1 判定に該当する方がいる世帯等については、政令月収 26 万 8 千円以下に緩和されています。

#### 4 市営住宅入居者募集における優先枠等について

- ① 上記 1 の②の車椅子常用世帯向け市営住宅については、当然車椅子常用世帯のみの申し込みとなっています。
- ② 上記 1 の③のシルバーハウジングは、65 歳以上の単身者か、2 人世帯用シルバーハウジングはどちらか一方が 65 歳以上の夫婦世帯か、どちらも 65 歳以上の親族世帯が申し込みできます。
- ③ また、募集の際には、入居者又は同居者に身体障害者手帳 1 級～4 級、療育手帳 A、B1 判定、精神障害者保健福祉手帳 1、2 級に該当する方がいる世帯の優先枠を設け、まずこれらに該当する世帯だけで抽選し、もし落選してももう一度その他の方も含めて抽選する優先策を行っています。

この抽選方法は、20 歳未満の子を扶養する母子世帯でも行っています。

#### 5 知的障害者のグループホーム事業について

市営住宅の根拠となっている公営住宅法が平成 10 年 4 月から改正施行され、この改正により、これまで認められていなかった、グループでの市営住宅の入居が社会福祉法人等が行う知的障害者のグループホーム事業等に限り認められるようになりました。これにより、宝塚市も条例改正を行い、この事業に取り組めるようになり、昨年 12 月から、社団法人宝塚市手をつなぐ育成会の行なう知的障害者のグループホーム事業に、安倉中住宅の 2 室（世話人も含め 5 人が入居）を利用しています。

#### 6 低層階等への斡旋について

既に市営住宅に入居されている方のうちで、住宅にエレベータがなく、4 階や 5 階にお住まいの方で、加齢や障害によりどうしても階段の上り下りが困難となった方については、1 階もしくはエレベータのある住宅への斡旋も行っています。ただ、空き家が発生した場合に限り斡旋しますので、時期や住宅の希望に添えない場合が

あります。

※ 以上が宝塚市営住宅の制度の概要ですが、疑問な点や詳細は市役所住宅課までお問い合わせください。電話0797-71-1141。(代表)

また、記載している内容・数字等は平成12年度の状況です。今後変更される場合も ありますのでご了承ください。

## 視覚障害者も楽しもう旅行

さわって食べて雨ぬれて

中山君江

私、視覚障害者で全盲です。だから旅行をしても観光は見えない分すごく損で半分旅費まけてほしいといつも思っています。(返せ、返せ)でもね悔やんでいても全盲が見えてくるわけではないので、ガイドヘルパーさんや家族をお願いします。この間、信州の上諏訪温泉へ行ったんです。全盲の人が諏訪湖の水を触らせてもらって感激していたのです。私も隣にいた主人に「水触ったって、いいねえ」って言うと「**どこの水もみな同じや**」って愛想なく言うんです。見えてる主人

にとっては、諏訪湖の水も武庫川の水も変わらないでしょうけど、見えないうちにとつて「ワアこれが諏訪湖ね。やっぱり違うね」なんです。どう違うかは聞かないで下さい。そこで手に触れた時が感動です。その土地の何かにあふれて旅行した気分になれるんです。テレビで見ただけ全盲の人がフランスへ行ってセーヌ川の水に触れてすごく感動「これがセーヌねフランスね」。エスカルゴも自分でチャレンジして、フランスを食べていたのが思い出しました。そうなんですよ。口だけの説明だけでは行った感動は沸いてこないんです。「私もお父さんフランス行きたい

なあ」主人登場「お前はどこへ行ってもどこも同じや」ハイハイ。それから日本に戻りまして諏訪神社に参拝しても鈴のついたひもにふれてジャランジャランとならして自分でお賽銭を入れる、10円玉ひとつで百ほど頼みごとする。神様も迷惑でしょうね。神社の大きさや形を教えてもらって、木や特徴のある物をさわらせてもらって初めて



## ここへ来たん

**だなあ**と感じます。観れない分、温泉を飲んだり(味はなかったそうで私は飲まれなかった)、手に触れたりすることはとても大切なことだと思います。間欠泉を観に行った時外が雨のために、館の中だったので音はしないは、匂いはしないは、だから全盲同志「ねえ、ちいとも面白くないわよねえ」「そうそう私たち観えないよねえ、音ぐらいさせてよねえ」って話の間欠泉で一す。そこで主人登場。「見えても面白くないわい。どこも同じや」。でも見えない者はみたくんで一す。**皆が見てる時空白の中にいるのはとても**



## イヤ

ですね。オルゴール館は盲人にとって音で楽しめる所ですが、どんな形かはやっぱり触らしてもらおうと尚楽しい、面倒でも触らして下さい。土地の物は出来るだけ食べてその土地の名物を食べて、土に触れて「よくぞここまで来たもんだなあ」。小雨が降っていたけどこれも信濃の雨……。古風、古風秋雨じゃぬれて行こう。私ひねてかわいい雛菊ちゃん。

温泉につかって、露天風呂に行ったり来たり、全盲も精一杯楽しもうではないですか。夜はビール飲んでカラオケ聞いて、ついでに歌のひとつも歌っちゃいます。音楽は全盲にとっては公平です。木曾節のひとつもうりましょうか。

とにかく、バスの中は歴

史資料館になったりカラオケボックスになったりビール片手に スナックになったり、ゆりかごになってユーラリ、ユーラリ・・・おやすみなさい。

初めのころは主人じゃないけど目が見えないと、どこへ行っても同じかなと思っていた時もあったけど、楽しみ方を知るといいですね。主人は面倒がつて一緒にいてもそんなに面白くないけど説明上手で触らせ上手で好奇心いっぱいの人とならばどこへでも行きたいと思います。

触って信濃、食べて信濃、雨にぬれて信濃。今度はどこへ行こうかなあ……。



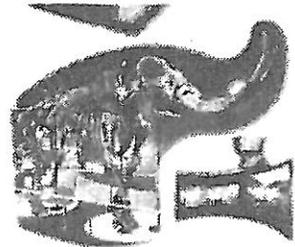
ハンドブック

～街であそぼう～

からのお知らせ



兵庫県三田市にある、人と自然の博物館は現在日本・兵庫県の過去の人間と自然との関わり、動物との関わり等を通じ未来への提言を展示コーナーごとにまとめられてある。これからの自然とのふれあいを考えさせられる博物館でした。



ハンドブック～街であそぼう～からの**おすすめ**

**イズミヤ小林店**

新たに「イズミヤ小林店」に身障者用トイレが設置されました。それによりイズミヤ店内の飲食店の利用、並びに各種買い物などがしやすくなりました。

したがって「イズミヤ小林店」周辺の各店舗もトイレを気にせず利用出来ることになりました。

＝みなさまにお願い＝

各種障害者が利用・使用しやすい設備の整った、お店や飲食店および施設などあれば I L センターまでお知らせ下さい。



# 障害者情報クラブと私

② あの当時の事を思い出すと、トイレトペーパーを筆頭に生活必需品全般が品薄になったり物価の高騰が激しく、慣れない入院生活の犠牲になっていた家族や親戚の事を思い起こすと今でも申し訳なく思います。

時代的にもまだまだ…、福祉の言葉すらあまり耳にしたこともない様に思います。(自分に関心がなかった事も事実です)

③ まさか自分が身障者になる

なんて、当時20才の私には遠く考えの及ばない事でした。

④ 2年半ほどの入院生活を終え我家にての生活が再スタートをしたのです。ただ何をするでなくるぐらいで、勿論それはそれで有意義でした。

① 昭和48年に交通事故にて受傷して以来今年で28年けっこう長かったと思います。  
昭和48年と言えばオイルショックの年で、私はそのちよつと前に受傷したのですがその影響で、冬でも暖房は時間制限され夜などはかなり寒かったのを今でもよく覚えています。

⑥ 今後も障害者情報クラブ員諸氏並びにILセンター・スタッフと共に自分自身を向上させていきたいと思っています。

金岡 幸二

## 写真2枚 ILのスタッフ達



⑤ その様な状況で暮らしていたある日お電話を頂き障害者情報クラブ(ILセンター)を知りましたが、すぐには入会出来ずにはいましたが、今はILスタッフタッフ3〜4回通っています。ILスタッフのお顔を見るのが楽しみです。



センターのコースとして週に目標に今では他のが楽しみです。

## ☆事務局より

● I Lセンターでアテンダントとして活躍されている会員の皆様に再度募集のお願い。

障害者情報クラブ事業での活動時に着用するマークを前回募集しましたが、右の一編の応募しかありませんでした。

5月の総会より着用して頂きたいと思いますので、何か良い案がありましたら、お寄せ下さい。



● 訃報のお知らせ

雲雀ガ丘にお住まいの近木伊津子様が今年の7月に亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

ご生前中は御寄付やバザー用品の提供などをいただき、大変お世話になりました。近木様に心より感謝申し上げます

● 電子メール\*

電話・FAX以外にも電子メールで問い合わせにお答えしています。アドレスは  
sjcil@anet.ne.jpです。

= 編集後記 =

久しぶりの発行となる障害者情報クラブニュース。自分の住んでいる町宝塚市と障害者情報クラブを改めて思い返して紹介することができれば、という思いで今回のニュースを企画してきました。

それぞれの思いがあります。そういう思いを書いてもらいました。

自分の住んでいる町のことを好きでいる、所属する会を好きでいるにはやっぱりたのしくないと・・・。たのしく過ごせるように互いにがんばりましょう。

「障害者情報クラブニュース」第14号2001年11月12日発行

編集者 障害者情報クラブ 中道 望

編集責任者 障害者情報クラブ事務局長 光森 千早

所在地 〒665-0816

兵庫県宝塚市平井2丁目1番10号ハイツ・エフ・オー 205号

障害者情報クラブ事務局

障害者情報クラブ I Lセンター TEL&FAX 0797-82-2233

e-mail: @sjcil@anet.ne.jp

郵便振替 記号14360 番号43110611 障害者情報クラブ

銀行口座 さくら銀行逆瀬川支店普通預金 3566211 障害者情報クラブ代表坂上正司

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区東中浜二丁目十の十三 緑橋グリーンハイツ1F アド企画  
一九八四年八月二十日第三種郵便物認可 毎日発行 頒価百円

# こちらILセンターとすえ〜

21世紀、明けましておめでとうございます。旧年中は皆様方にはいろいろ御協力いただきまして本当にありがとうございました。本年も私共も一生懸命がんばりますので、よろしく願いいたします。皆様の21世紀はどんな年になるのでしょうか？素晴らしい年でありますように。

私のモットーは、本音はもっとスマートになりたいと書きたいのですが、無理なので、北海道へ行くぞー・・・そして行き当たりばったり人生を送る。

中山 君江

## 2001年 新年のご挨拶

2001年、21世紀 障害者情報クラブの皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も当クラブ会員諸氏にとって良き1年であり、21世紀の幕開けにふさわしい年になりますように心より祈願し新年のご挨拶にかえさせていただきます。

金岡 幸二



### 忘年会参加記

去る12月16日(土)和風レストラン『花やしき』にて、午前11:30より参加者総勢20名にて盛大に忘年会(定例会)が始まりました。当日は天候にも恵まれ、12月も半ばと言うのに日差しも暖かく、車椅子の私にも外出しやすくて助かりました。

食事の量も私個人としては充分で、お酒も少々いただき楽しい時を過ごさせてもらいました。昨年より参加者も多く、顔ぶれも違って皆さんそれぞれ話も進まっていたご様子でした。

楽しい時間は早く過ぎるもので、あっという間に午後1:30お開きの時となり、坂上さんのお話の後解散となりました。今回も参加させていただき大変よかったです。

金岡 幸二

### 2001年 ILセンタースタッフ 今年のモットー

順不同

- 岩本 浩一 書道一直線 (サインはV)
- 金岡 幸二 今年は、風邪に注意し入院しないように努力する
- 吉梅 和子 ダイエットを兼ねた、露天風呂めぐり(新車トヨタ・ラウムで)
- 石川 博之 完食日々(食を極める！)
- 堀口 礼子 初めましてILスタッフになりました堀口 礼子です  
福祉の勉強をし、友達を作りたいです どうぞ、よろしく
- 黒田 久雄 太鼓一直線！松山&新潟遠征、プレーリーでGOGO！
- 募集 使用済みテレカ・ラガール・オレンジカード・古切手をILまで。(担当 岩本)

# ILセンターPR

.....

私たちのILセンターは、阪急山本駅下車、徒歩3分で、ハイツエフオーのマンションの中にあります。パソコンの練習や福祉の勉強、そしてハンドブック“街であそぼう”の取材や製作を楽しみながらやっています。(車いす障害者が楽しめるお店を紹介する本)

ILセンターでは仲間同志が悩みを話したり、聞いたりしてお互いに助け合っています。あなたも私たちと一緒にいろんなことにチャレンジしてみませんか。お待ちしております。

(ILスタッフ一同)

===障害者スタッフの岩本さんの感想===

私はここへ来てから、今まで知らなかった福祉のことをいろいろ学ばせてもらい多くのことを知りました。本当によかったと思います。障害者の皆さんぜひILセンターへ来て下さい。

..... Ö .....

障害者が出かける時や家事など援助して下さい。1時間(900円)詳しくはILセンターで面談の上、お待ちしております。

..... ÑVI .....

宝塚まつりなどでバザーを出します。なかなか用品が集まりませんので、どうか御協力お願いいたします。お電話いただければ、頂きにまいります。

**【問い合わせ先】**  
障害者情報クラブ・ILセンター  
〒665-0816  
兵庫県宝塚市平井2-1-10-205 (ハイツ・エフ・オー)  
電話&ファックス  
0797-82-2233